

令和4年度

元気いっぱい 花いっぱい
笑顔あふれる みんなの宮前小学校

所沢市立宮前小学校



けやき

自立する子

《学校教育目標》

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく

第9号 令和6年1月9日

2024 飛躍の一年に！

校長 五十嵐 和彦

明けましておめでとうございます。本年も よろしくお祈りします。

2024年が始まりました。今年も元日の朝、宮前小学校の子供たちの幸せを祈念して、初日の出と富士山を宮前小学校の屋上から撮影しました。とても空気が澄んでいて、どちらもはっきりと見ることができました。

さて、今年の干支は「辰」です。辰年は活力が旺盛となり大きく成長し、形が整う年と言われています。そこで、次のような1年になればと思います。

- ㊦：たゆまぬ努力と、
- ㊧：つながりを大切に、
- ㊨：どんな時も笑顔で、
- ㊩：しあわせな一年となりますように



教職員一同、力を合わせ教育活動に邁進してまいります。今年も引き続き、本校の教育活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。



チーム〇〇の取り組み

東狭山ヶ丘自治会のご支援により、一昨年末に全児童に学年色のカラー帽子を配布しました。このカラー帽子は、登下校の安全を守るということだけでなく、学年の絆をより強固にし、自分たちが所属している学年に誇りを持ってほしいと願っています。約1年が過ぎ、それぞれの学年で自分たちの帽子にプライドをもって取り組んでいる姿が見られます。特に高学年はニコニコ班の活動で下級生をリードし、みんなのお手本になって活動しています。「チーム〇〇（学年帽の色）」としてみんなで力を合わせ、素晴らしい宮前小学校をつくっていかれたらと思います。



< 1月の生活目標 > 給食を残さず食べよう

12月の活動から



12/14 ゲームめぐりのたび(ニコニコ班で楽しみました)



12/15 大縄大会



12/15 スーパーマーケット見学(3年)



12/21 クリスマス献立

学校給食週間

日本の学校給食の始まりは、明治22年(1889年)山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校とされ、各地に広がっていきましたが、戦争の影響などによって中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化から、昭和21年(1946年)6月にアメリカから給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されました。昭和25年度より、1月24日~30日までの1週間を「学校給食週間」と決めました。子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化する中、食の偏りや肥満など子供たちの健康に関する様々な課題が出てきました。学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。(文部科学省ホームページより抜粋)

所沢市の小・中学校においても給食週間に関する様々な取り組みが実施されます。宮前小学校でも学年ごとに給食への感謝を作品で表現し、市内の学校給食展に出品する予定です。



フラワーボランティアさんに植えていただいた花壇の花々も、暖かい春を待ち望むように咲いています。



～ 訃報 ～

ふれあい相談員の佐藤真由美さん(若狭小学校兼務)が11月末に体調を崩し入院され、12月26日に御逝去されました。ここに謹んで、ご冥福をお祈りし、お悔やみを申し上げます。